

国際障害者年 スローガン

「完全参加と平等」

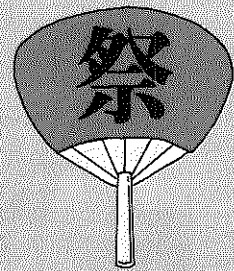
こぶし・けやき

こぶし作業所後援会ニュース

編集発行
〒321 宇都宮市柳田町1401番地
こぶし作業所
☎0286 (62) 1911
〒320 宇都宮市清住3丁目1-14
(藤田法律事務所内)
こぶし作業所後援会事務局
☎0286 (25) 3266

祝 | 周年けやき作業

こぶし
・
けやき



地域の人々三百人が集う いつも暖かい目に囲まれて

けやき編

昨年開所したけやき作業所では、地域の人たちの励ましをいただきながら一周年を迎えることができました。分場という困難な状況ではありましたが本所の応援も受け、地域の方々へのお礼の意味をこ

めてけやき祭を開催することになったのです。振りかえってみれば、大声を上げながら散歩をしている私たち集団の声を聞きつけて、「いじめられているのではないのか」と自転車をとば

して乗りつけの様子を見にきていた。いた事。作業所の庭ではじめた素人園芸に見かね、肥料やワラ、そして暖かい指導をいただいた事。ただの空地が地域や保護者の方々のご好意で数年後には花に囲まれたけやき作業所になりそうでした。

保護者との



二人三脚
そして何よりも特筆しなくてはならないのは、仲間たちの

処遇や、施設環境、運営に到るまで八面六臂の活躍でけやき作業所を支えて来たのは保護者会の皆さんです。月に一度、夜遅くまで職員のみみに耳をかしていた。き、作業の導入、財政活動など常勤ボランティアとも言うべき職員との二人三脚体制が生まれました。今回のけやき祭も保護者の皆さんの力無くして企画できなかったものでした。

百人をこえる関係者

お祝にかけつける

当日の六月十二日は、開催時間の間は雨がやんでしまいうという奇跡的な一日でした。一家が障害者教育にかかわっており、見学にも来ていた。いた市貝町々長さんをはじめ、大勢の来賓の方々。毎日挨拶していた。く地域の皆さんの顔々の前で職員・仲間の出しものや、けやき作業所の一日をまとめたビデオの放映などけやき作業所の理解を一層深めることになりました。舞台の後は保護者会で準備した家庭料理の数々で宴会。アットホームで、ハートフルな二時間はあっという間に過ぎてしまいました。

芳賀の地らしい

作業所づくりを

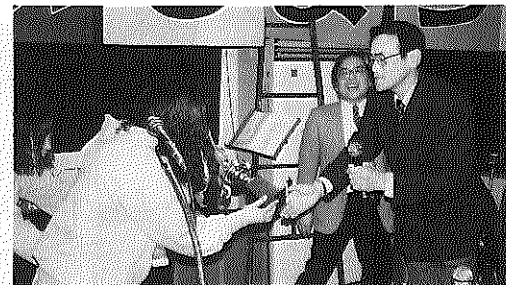
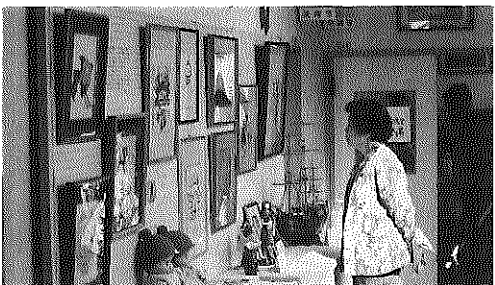
けやき作業所のすぐ北に酒屋さんがあります。朝八時すぎには益子から通ってくる鎌田君に誘われ、一人ぐらしの車イスの仲間直井君が出勤。途中、ここでモーニングコーヒーを飲みながらおばさんとひとしきり世話をします。その前を通って菊地君がまるで閩兵式の兵隊さんのようにニコニコとけやき作業所へ向きます。回りは見渡すかぎりの田植の終わった湿地帯が朝の光に揺れています。都会のそれとは一味ちがった、みんな大地に遊んでいるような作業所づくりができそうな予

一年間の成果を舞台に

こぶし編

一方、こぶし作業所も二月二十日に恒例のこぶし祭を開催。関係者、地域住民二百人が集いました。十三回目という事もあり、常連の市民が企画するとも言えるカラオケ大会がメイン。又今年は栃木交響楽団の団員で結成された「クメタナトリオ」の皆さんが歌こえも混えて、ポピュラーな曲を演奏、聴集を夢の中へと誘いました。仲間のステージでは一年間の成果を地域の皆さんに報告。トイレに閉じこもって

た森下さんが納品の手伝いを力いっぱいするようになった事などのエピソードが、職員の楽器演奏と構成詩・仲間たちの歌声で発表され大きな拍手を受けました。又、今回は仲間・家族・職員の作品展も展示、思い出を確かめるようなボカ〜と心の暖まるみんなの作品展となりました。今回のこぶし祭は、社協の補助を受けつつ、多くのボランティアの協力で実現。13年の歴史を裏づけるものとなりました。



仲間づくり PART II

障害の重い人たちの

「仲間づくり」を大切に

前号で紹介したこぶし作業所の自治会は、一ヶ月近くの激しい選挙活動を経て、新役員を選出しました。(写真下：けやき作業所の新役員自治会活動のねらいは、一人ひとりの自覚性を引きだし、みんなと協働して作業所生活を充実させることにあります。(自治会活動のめざすもの：十周年記念文集より)ところがこの間、こぶし・けやきともに障害の重い仲間が多くなり自治会活動は又、一つの試行錯誤の時代に入りました。

仲間を求めるのは人間だけ

人間は簡単なことでも、動物なら自力でやりとげてしまうことでも他人を頼ります。そのことが人間らしい育ち(教育とか協業による労働とか民主主義等々)を保障するといえます。他人と助けあひながら活動することの具体的な形が仲間自治会である訳で、どんなに障害が重くともその例外ではありません。しかしその参加を実際的につくりだすこと(指導員の仕事の

醍醐味なのですが)の悩みは大きいものがあります。今回の選挙でも形だけ参加させるのではなく、自分の気持ちを表現できるように直接選べるように工夫しました。

あらゆる活動が仲間づくり

自治会活動が作業所生活のいろ／＼な場面で行われるように、重い障害を持った人たちの仲間づくり(自治活動)も作業や生活指導の場面でとりくまれます。

例えば職員への援助無しには仲々作業に入れない仲間でも得意な作業、(知的なレベルで運ぶことが好きだったり、職員の手伝いが好きであったり)いろいろありますが、()の中には写真のようにみごとに協力しあい、仲間だけの力で一つの作業に立ち向かいます。一輪車を押している野口君は毎日のように人間をさけるように無断外出をしていましたが、今では、必ず仲間たちの近くにいるようになりました。袋を入れていた関根君は職員を介してやっと作業に入れる仲間でした。この頃では、さらにベアリング作業の中で阿部さんにピンを渡されて沢山のベアリングを組立てるようになり、関根君は重い自閉性障害の仲間が意志を伝え合おうのに大変苦労するのですが、この時は阿部さんの働きかけに対し職員に対する時に比べてとてもすばらしい笑顔を見せます。



この他自分でトイレに立つことの多くなった野沢君。朝礼に半年がかりでできた森

下さん。一日中はい回していた齊藤君が職員の言葉かけて目を見て聞くようになった事。これらの出来事の本質は、大好きな人に関心をよせる(仲間づくり)ことが力になっているのだと思うのです。

自立の世紀へ

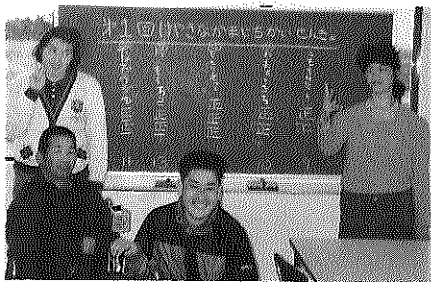
仲間づくりを

二十一世紀は自立の時代と言われています。子どもから大人・障害者の自立が人類にとって大きな課題になっていきます。自立そして(主人公として命を輝かすこと)の中の大切な要素が「仲間と手をつなぎ、より大きな夢を実現する力」です。自治会活動や「仲間づくり」は、そんな意味で私たち全ての願いです。

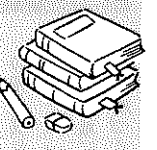
チャリティ

絵画展開催

今年も、ハットフィールドの作品を中心に、8月20日(土)24日(日)、マロニエプラザにおいてチャリティ絵画展を開催します。お気軽に巨匠の色彩の響きをお楽しみ下さい。



作業所日記



- 平成五年
- 12・3 けやきの仲間・所長とボナス交渉
 - 12・6(日) 市原婦人会(27人)が施設見学
 - 12・8(日) 宿泊訓練 仲間4人
 - 12・16 豊郷中学校長他2人。寄付
 - 12・19 法人理事会。労使懇談会。(日)仲間2人が花見ヶ岡育成園クリスマスに参加
 - 12・20(日) 住谷・高橋、廃油石鹸作業の見学。とちぎコープも同行、新しい作業導入に明るい展望
 - 12・23(日) クリスマス・忘年会
 - 12・24(日) 消防署指導のもと火災訓練
 - 平成六年
 - 1・4 仕事始め、雑煮を食べながら新年の抱負を語る
 - 1・5(日) 井戸故障、水難のはじまり
 - 1・6(日) 逆井晴香さん・益子養護中学校実習
 - 1・8 管理部職員・保護者懇談会
 - 1・13(日) 家族旅行、小雨の中、一年に数回しかないという、ガラ／＼のデイズニールランドは、乗物にのり放策。たのしかった。ボランティアの手塚さん・山室さんご苦勞様。
 - 1・17(日) 菅又君(宇大付属養護)実習
 - 1・18(日) 工藤さん、ピアノの調律に来所
 - 1・23 買い物訓練、こぶしでは暖房機の灯油が漏れ大さわぎ、道路がとける。けやきでは、この日齊藤宗一君の成人を祝う
 - 1・27(日) 宇河地区育成会施設見学
 - 1・28(日) 小林正典君の送別会。(日)司法修習生、施設見学・交流
 - 1・31(日) 星野君・川島君・栃木養護実習
 - 2・4(日) 宝木中(6名)福祉体験学習
 - 2・11(日) 保護者懇談会
 - 2・14 県の監査
 - 2・20 こぶしまつり、地域住民他百九十二人が集う。
 - 3・5(日) ハトバスツアー(写真)
 - 3・6(日) 芳賀郡チャリティカラオケ大会に出場、数々の賞を独占(写真)
 - 3・8(日) シルバー大学生(10人)施設研修
 - 3・9(日) パートの飯塚治美さん退職
 - 3・10 網川倫行君腸閉塞で入院(15)
 - 3・14(日) シルバー大学生(6人)ボランティアで来所。川島君・星野君の実習再回。
 - (日) 成田雪子さん、アルバイト
 - 3・27 買い物訓練。けやきは真岡線にのり、SLも見学。こぶしでは自治会の役員選挙が実施され、酒巻会長他5名の役員が選ばれた。
 - 3・28(日) 総評会議
 - 4・1(日) 入所式。星野健君が紹介される。又、川島和史君も実習生として通所。けやきも辞令伝達式が行われ、渡辺郁子さんが臨時職員として配属。
 - 4・4(日) 相良君、氏家コロニーへ。送別会をおこなう。(日)日笠山君・飯村君・勝田君・松崎さん(栃木養護)が実習
 - 4・8(日) 真岡根本山へ花見
 - 4・9(日) 花見(同所)：写真
 - 4・11(日) 福田さん実習
 - 4・18(日) 荒井さん・池田さん・酒巻さんが禁煙宣言、所長は節煙宣言をちかう。その後大橋さんへ波及。牛丸君は孤立してしま
 - 4・20(日) 宿泊訓練
 - 4・23(日) 保護者懇談会
 - 4・24 買い物訓練。ボランティア3名参加その後こぶしでは誕生会を実施
 - 4・25(日) 自治会役員、所長とボナス交渉
 - 5・1(日) 福田寧子さん入所。入所式は2日に実施する。メーデーに参加(写真)
 - 5・3(日) 4(日) 益子陶器市に模擬店出店、おにぎり・竹の子ごはん・赤飯・コーヒール等を販売。
 - 5・12(日) 阪倉さん実習。
 - 5・14(日) 15 共作連全国大会に参加。職員・仲間・保護者延16人が参加。栃木自立をめざす会も同行し交流を深める。
 - 5・18(日) 20(日) 宿泊訓練。
 - 5・22 買い物訓練、午後は誕生会(日)、都賀町へいちごがり(日)、それぞれ実施。
 - 5・26(日) 27(日) 定期健康診断。
 - 6・3(日) 保護者懇談会
 - 6・5 法人理事会。事業計画、長期整備計画策定委員会等について決定。
 - 6・12 けやきまつり開催。
 - 6・13(日) 老人大学生(6名)ボランティア。
 - 6・16(日) 市内コースの保護者懇談会。
 - (日) こぶし作業所
 - (日) けやき作業所
 - (日) 写真見学
 - (日) 写真見学



後記

今回より、この会報はこぶし・けやき両後援会会報の合併号となります。したがって会報名も「こぶし・けやき」となりました。今後とも、こぶし・けやき両作業所のニュースを中心に充実した内容を編集していきたいと思っております。

